

# 愛知大学国際問題研究所紀要総目録

(1949~1993)

以下の総目録のうち、1~25は「国際政経事情」のタイトルで発行され、26以降は「紀要」に変わった。

## 1 (1949. 2)

発刊の辞	小岩井 淨
アジア経済の復興と工業化計画	
—— アジア極東経済会議の機構と課題 ——	小幡 清 金
重大化する中国の情勢	桑島 信一
朝鮮における最近の政治経済情勢	四方 博
輸出貿易の近況と展望	一條 雄司
中国新聞論調	金丸 一夫
対外貿易情報	金丸 一夫

## 2 (1949. 3)

国際情勢の緊迫化	小岩井 淨
戦後ヨーロッパの労働運動(-)	森谷 克己
中国新聞論調	金丸 一夫
「ソヴェット連邦観」によせて	胡麻本 葛一
単一為替ルートの設定	一條 雄司
日華貿易の近況と展望	金丸 一夫

### 3 (1949. 4)

アメリカ経済の動向——1つの素描——

太田英一

東南アジアの民族運動(一)

細迫朝夫

日蘭印間の貿易

金丸一夫

民族主義と世界平和機構

吉田東祐

中国新聞論調

池上貞一

### 4 (1949. 5)

戦後中共の土地政策について

三好四郎

アメリカ労働政策の変遷

大石岩雄

東南アジアの民族運動(二)

細迫朝夫

我国輸出貿易の前途

小幡清金

### 5 (1949. 6)

アメリカ極東政策と近況

——対華政策と対日政策——

萩野茂彦

戦後中共の土地政策について

三好四郎

東西の応酬とドイツの位置

川崎一郎

新中国輸出入平衡の可能性

唐池上貞一

中国を繞る国際関係

植田捷雄

### 6 (1949. 8)

旧伊太利領植民地問題

園部敏

戦後中共の土地政策について(完)

三好四郎

スタハノフ運動とノルマ

大石岩雄

世界経済体制

森谷克己

中日貿易促進運動の展開とその性格

金丸一夫

人民民主専攻を論ず

毛池上貞一

## 7 (1949. 9)

太平洋同盟の展望	一 圓 一 億
中国新民主主義青年団に就いて	池 上 貞 一
新中国連合政府について	
戦後世界経済と日本貿易の展開	金 丸 一 夫

## 8 (1949. 12)

ソヴェット「強制労働問題」について	胡 麻 本 萬 一
新情勢下の東欧民主主義	川 崎 一 郎
中国革命と農民	鈴 木 中 正
中国人の社会心情と中共の将来	小 菅 文 夫
海外論調	E. Stuart Kirby 池上貞一 訳

## 9 (1950. 1)

停滞する革命ポンド切下と英国労働党	川 越 淳 二
中小工業としての知多遠州織物産業	大 戸 石 岩 雄 夫
分裂ドイツの政治情勢	細 迫 朝 夫
新中国の経済政策	
—— 中国人民政治協商会議共同綱領 ——	金 丸 一 夫

## 10 (1950. 3)

国際連合とソヴェット	胡 麻 本 萬 一
アジア経済的復興と開発	宇佐美
新中国の経済政策	
—— 中国人民政治協商会議共同綱領 ——	金 丸 一 夫
新中国の団体協約	池 上 貞 一
戦争と平和	金 丸 一 夫

## 11 (1950. 4)

米国の経済と景気の動向

井 上

国際連合とソヴェット

胡 麻 本 萬 一

新中国の経済政策

—— 中国人民政治協商会議共同綱領 ——

金 丸 一 夫

国際経済の見通しと、その日本におよぼす影響

広 長

## 12 (1950. 6)

アメリカ経済の集中傾向

小 幡 清 金

国際経済の見通しと、その日本におよぼす影響

広 長

新中国における学習

池 上 貞 一

新中国の経済政策

—— 中国人民政治協商会議共同綱領 ——

金 丸 一 夫

## 13 (1949. 1)

新中国経済建設の基本政策

金 丸 一 夫

## 14 (1951. 6)

新中国経済建設の道程

金 丸 一 夫

## 15 (1952. 12)

中欧・東南欧人民民主主義諸国における農業政策

三 好 四 郎

国際連合変革過程

川 崎 一 郎

二つの国家権力の形成過程

池 上 貞 一

アメリカの帝国主義

杉 本 出 雲

アメリカ独立革命と民主政治

松 葉 秀 文

## 16 (1953. 7)

中華人民共和国の国家機構	秋 永 肇
国際法より観る朝鮮休戦問題	松 葉 秀 文
戦後朝鮮の政治情勢	朴 庸 坤
中華人民共和国第3憲章(華文)	

## 17 (1954. 6)

中国・朝鮮两国提携の新段階	松 葉 秀 文
中華人民共和国の労働法則	向 山 寛 夫
中国における社会主義への過渡期の総路線 ——「共同綱領」研究のために——	金 丸 一 夫
新中国重要事項年表(1949・9～1953・5)	

## 18 (1954. 10)

国際政治における中国の地位	入 江 啓 四 郎
エム・イーラザレフ著	
中華人民共和国の承認と国連加盟問題(露文邦訳)	胡 麻 本 蔦 一
現代中国の形成過程 ——現代中国革命外交史序説——	松 葉 秀 文
中華人民政府と対日講和处理	川 崎 一 郎
中国における国家と人民	池 上 貞 一
三十年前の中国労働者階級	伊 藤 武 雄
人民民主主義的土地改革としての中国の土地改革	三 好 四 郎
中国における社会主義工業化政策	金 丸 一 夫
新民主主義経済過渡期における社会主義の基本的経済法則	杉 本 出 雲

## 19 (1955. 6)

中国憲法の特質	鈴 木 安 藏
---------	---------

中国の新憲法を中心とする課題	高橋勇治
人民代表大会制度	小岩井浄
新憲法における中華人民共和国主席の職位	松葉秀文
中華人民共和国国務院について	池上貞一
新憲法下における社会保証とその経済的意義	杉本出雲
新中国憲法における領域条項について	川崎一郎
中華人民共和国憲法	
中華人民共和国全国人民代表大会組織法	
中華人民共和国地方各級人民代表大会及び地方各級人民委員会組織法	
中華人民共和国国務院組織法	
中華人民共和国人民法院組織法	
中華人民共和国人民検察院組織法	
中華人民共和国法令目録	
(附) 中華ソヴェト共和国婚姻条例	

## 20 (1956. 3)

中国新婚姻法の基本的性格	黒木三郎
新中国の全国人民代表大会	池上貞一
民工をめぐる諸問題	
—— 過渡期における労働理解のために ——	杉本出雲
中国における第一次五ヶ年計画の輪廓	
—— 投資と建設を中心として ——	金丸一夫
モスクワ協定と朝鮮独立	川崎一郎
北朝鮮における民主的諸改革と経済計画の発展(1)	
—— 戦後朝鮮の経済構造の変化を中心として ——	朴庸坤
内藤湖南記、清国再游記要—— 禹城鴻瓜後記 ——	内藤戊申
上海国是会議乙種憲法草案について	石川忠雄
スチュアート大使による国共調整	松葉秀文
中華人民共和国の軍事制度	浅井敦

## 21 (1956. 10)

東南アジア民族国家の研究	松 葉 秀 文
インドにおけるポータン運動と土地問題	坂 本 徳 松
国際連合と朝鮮独立	川 崎 一 郎
中国の民族区域自治	池 上 貞 一
中国における遺家族・留守家族・傷痍軍人・復員軍人の保障について	杉 本 出 雲
中国農村における社会主義的高揚の世界史的意義	三 好 四 郎
北朝鮮における民主的諸改革と經濟計画の發展 (完)	
—— 戦後朝鮮の經濟構造の変化を中心として ——	朴 庸 坤
インドネシアにおける民族統一戦線の發展	勝 部 元
内藤胡南記、乙亥鴻瓜記略 (上)	内 藤 戊 申
新中国における政法教育その他一新中国訪問ノート抄——	黒 木 三 郎
中華人民共和国全国人民代表大会及び同常務委員会員の主要な決議と決定	浅 井 敦

## 22 (1957. 5)

中国における資本主義の社会主義的改造の諸問題	
—— 劉少奇の報告と対比した「経済学教科書」の理論 ——	副 島 種 典
南朝鮮におけるインフレーションの累進過程 (1)	朴 庸 坤
社会主義企業における生産會議	野 崎 幸 雄
魯迅 —— 抵抗の姿勢	近 藤 晴 彦
戦後における米中関係の開始	松 葉 秀 文
スエズ運河問題をめぐる北京外交	川 崎 一 郎
高放「中国のプロレタリア独裁樹立についての特徴」	池上貞一 解説
尹行重「過渡期における北朝鮮經濟の諸特徴」	朝鮮民主主義人民共和国科学院經濟法学研究所編
1954年インド特別婚姻法	黒 木 三 郎

## 23 (1957. 9)

老令者の生活は保障されているか

—— 英国の社会保障をめぐる問題 ——

杉本出雲

南朝鮮におけるインフレーションの累進過程 (II)

朴庸坤

ウインスキーの法理論についての若干の問題

木田純一

中国における最近の民主化について

池上貞一

清末伝統思想の一変形

藤井宣丸

セイロン古文化とその経済的基盤

鈴木中正

内藤胡南記、己亥鴻瓜記略 (下)

内藤戊申編

## 24 (1958. 2)

「労働者階級の絶対的窮乏化の法則」について

副島種典

1954 年末の国民保険制度改正に対する労働党及び労働組合の見解について

—— 英国の社会保障をめぐる問題 ——

杉本出雲

ソ同盟における農業政策の新展開

富岡裕

南朝鮮経済の動向

—— 戦後朝鮮の経済構造の変化を中心として ——

朴庸坤

南朝鮮における民法改正の動向と法意義の錯綜 I

黒木三郎

東西両洋文学の相互的影響 —— 第 29 回国際ペン大会の課題 ——

荒川竜彦

政治 —— それは人間性といかなるかかわりを持つか ——

近藤晴彦

## 25 (1958. 7)

中国の新しい整風運動

池上貞一

労働時間短縮をめぐる国際的動向

細迫朝夫

ソ同盟における住宅問題の解決

富岡裕

東西両洋の相互理解 —— 国際ペン大会記事録補遺 ——

荒川竜彦

中国における社会主義社会への平和的移行 (I)

許野瀬

中華人民共和国政府の国際的地位

野瀬清  
川崎一郎



## 26 (1958. 12)

- 中華人民共和国における普通語—民族共通語—の普及状況  
 —— 中国視察の見聞を主として —— 鈴木 扶 郎
- 米国における最近の中国研究事情  
 “スタンホード大学及びコロンビア大学の学科課程から” 松 葉 秀 文
- 中国経済学界の経済法則に関する研究および論争について  
 —— 9年間の回顧 —— 金 丸 一 夫
- 中国における農業協同化運動の発展過程 野 間 清
- 中国の労働保険制度と労働者の生活 杉 本 出 雲
- 中国の対日政策とその現段階 池 上 貞 一
- 中国近代史関係文献の総合目録のための資料について 内 藤 戊 申  
 野 許 野 濂 清 新 訳
- 中国における社会主義社会への平和的移行(2)  
 中国経済学会における経済法則に関する論文、著作目録  
 —— 自1949年、至1958年8月 —— 金 丸 一 夫
- 中華人民共和国政府の国際的地位 川 崎 一 郎

## 27 (1959. 5)

- 共産主義への漸次的移行と社会主義的所有の諸形態について 副 島 種 典
- 中国労務管理論 野 崎 幸 雄
- 農業の集団化と機械化との関連について  
 —— 農業の集団化における MTS の役割 —— おかだ ひてお
- 南朝鮮における民法改正の動向と法意識の錯綜(2) 完  
 附 民法草案(親族相続編) 黒 木 三 郎
- 日本美術の国際性—その進出と評価— 荒 川 竜 彦
- 日本人の受容性 近 藤 晴 彦
- 社会主義のもとでの商品生産と価値法則 富 岡 裕
- 金漢周「新しい発展段階にあるわが国の農村経済」 朴 庸 坤
- C・プリントン 19世紀イギリス政治思想 田 中 収

## 28 (1959. 9)

- |                               |       |
|-------------------------------|-------|
| コモンウェルズとインド                   | 入江啓四郎 |
| セボイの反乱の性格——最近の研究書の紹介と批判——     | 鈴木正四  |
| 19世紀前半期におけるパンジャブ、カシュミルと中国     | 鈴木中正  |
| インド村落の社会構造と村民の価値志向についての覚書     | 島本彦次郎 |
| インド社会党員の社会党国際会議(1947年)に関する報告書 | 松葉秀文  |
| 1956年ヒンドウ教徒相続法                | 黒木三郎  |
| 農業問題に関する若干の考察                 | 杉本出雲  |

## 29 (1960. 3)

- |                                |       |
|--------------------------------|-------|
| インドの“架橋政策”について“米・印両国の関係から——    | 松葉秀文  |
| 北朝鮮における第一次五ヶ年計画について            | 朴庸坤   |
| 東独における最近の法科学の動向                | 影山日出弥 |
| 日本軍占領下における華中植棉地区農村実態調査報告       | 三好四郎  |
| アメリカ憲法における結社の自由                |       |
| ——ロバート・ホーンの「集団と憲法」1956の研究(1)—— | 酒井吉栄  |
| 中国の刑務所                         | 木田純一  |
| 南朝鮮の国家保安法                      | 黒木三郎  |
| 米国監査実践の諸問題(1)——ブロードの所見——       | 河合秀敏  |

## 30 (1960. 12)

- |                            |              |
|----------------------------|--------------|
| 中国農村の人民公社化過程について           | 野間清          |
| 人民公社史をめぐって                 | 今泉潤太郎        |
| 中ソ国境河川協定論                  | 川崎一郎         |
| 法の範疇的構造——ケリモフの所説をめぐって——    | 影山日出弥        |
| 「マルクス・レーニン主義による国家と法の理論」(1) | ヘルマン・クライヤー 編 |
|                            | 黒木三郎 訳       |
| 米国監査実践の諸問題(2)——ブロードの所見——   | 河合秀敏         |

## 31 (1961. 7)

会議派社会党の歴史と活動

- 1934～40年のインドにおける政治的潮流の一考察 —— 坂本徳松  
インド刑法について 木田純一  
中印国境問題の現状 川崎一郎  
アメリカ対AA政策のジレンマ 柳沢英二郎  
「解説」ベトナム民主主義共和国憲法について  
（附）ベトナム民主共和国憲法全文 坂本徳松  
インドの新しい後見、養子、扶養の法律 黒木三郎  
第7回国際民主法律家会議について 胡麻本萬一  
「マルクス・レーニン主義による国家と法の理論」(2) ヘルマン・クライヤー 編訳  
黒木三郎 訳

## 32 (1962. 2)

- 中国近代史の分期論（上）—— 学説展望 —— 内藤皮申  
ソビエト憲法の改正について 胡麻本萬一  
韓国犯罪論 —— 特に違法論の概要について —— 夏目文雄  
ドイツ民主共和国における国家機構の発展過程(一)  
—— ドイツ民主共和国の成立まで —— 影山日出弥  
インドの労働市場と近代労働者の形成 杉本出雲  
社会主義農業と地代 富岡裕  
中国人民公社関係の図書小冊子目録 野間清  
「マルクス・レーニン主義による国家と法の理論」 ヘルマン・クライヤー 編訳  
黒木三郎 訳  
中国の人民団体 池上貞一

## 33 (1962. 9)

- インド政府の労働政策と労働者階級 杉本出雲  
インドに関する三見解 柳沢英二郎  
中華民国時代における労働組合法とその背景 向山寛夫

人民公社理念の成立	池上貞一
中国の土地改革にかんする若干の問題と資料(1)	野間清
国連代表権問題と中共の立場	川崎一郎
「現代中国学会」会員著作目録 1960-1961年度	

## 34 (1963. 2)

韓国刑事訴訟法(総則)の概要	
—— 朴軍事政権下の特別刑事立法にふれて ——	夏目文雄
南朝鮮の軍事政権と「韓日会談」の本質	朴庸坤
ポーランド行政手続におけるアクチオ・ポピュラリ	浅井敦
中国労働運動史	向山寛夫
中国の土地改革にかんする若干の問題と資料(2)	野間清

## 35 (1963. 8)

中立ラオスの発足	川崎一郎
アメリカの対インド政策	柳沢英二郎
中国社会主義建設路線の新動向	
—— 六中全会から丸中全会へ ——	池上貞一
中国の土地改革にかんする若干の問題と資料(3)	
—— 「復査」運動について ——	野間清
アメリカ憲法における宗教の自由	
—— 新しい環境のなかでの古い伝統 ——	酒井吉栄
韓国第三共出国の新憲法制定に関する資料	夏目文雄
現代中国学会会員著作目録 1961-1962年度	

## 36 (1964. 1)

「特殊な商品生産」と「特殊な価値法則」	
—— 岡稔「計画経済論序説」批判 ——	副島種典
ドイツ民主共和国における国家評議会	影山日出弥

中華民国時代における労働保護立法	向山寛夫
土地改革にかんする若干の問題と資料(4)	
——小作料および利息の軽減運動について——	野間清
中印境界問題と国際法	周鯁生 著
大韓民国刑法典	川崎一郎 訳
愛知大学所蔵中国文雑誌目録	夏目文雄
	今泉潤太郎

## 37 (1965. 7)

中国における「労働者教育」の意義と課題	杉本出雲
中国の外国権益接收の経過	川崎一郎
中国社会主義革命と民族ブルジョアジー	浅井敦
中国におけるプロレタリア独裁と統一戦線	藤城和美
世界政治における米・ソ・中国(1)	柳沢英二郎
北京市の市政府機構	浅井敦

## 38 (1966. 1)

中国の国際機関代表権問題	川崎一郎
人民公社の特質と現段階	浅井敦
社会主義社会における階級斗争の中国理論	池上貞一
土地改革後の中国農村における社会主義と資本主義	蘇野間清
の二つの道の闘争	野間清
大韓民国兵役法および解説	尹和雨

## 39 (1966. 6)

チェコ革命の性格	木田純一
中華ソビエト共和国の選挙制限	宮坂宏
土地改革後の中国農村における社会主義と資本主義	蘇野間清
の二つの道の闘争(2)	野間清
陳独秀主義を論ず	池上貞一
ドイツ・民主共和国略歴年表ステファン・テルンベルグ著	影山日出
「ドイツ民主共和国小史」附録——	宮崎鎮雄

## 40 (1967. 1)

ソ連邦における反社会主義的現象およびそれとの斗争

副島種典

裁判による政治権利の剥奪

浅井敦

戦後ラント憲法の若干の特質

影山日出弥

土地改革後の中国農村における社会主義と  
資本主義の二つの道の闘争 (完)

蘇野間清星  
野間清星

チェコ司法制度の資料

木田純一

## 41 (1967. 6)

戦時アメリカの対外投資と対外援助

松村一隆

チェコ憲法における基本的人権

木田純一

中国刑法における犯罪類型(1)

夏目文雄

ザクセンにおける人民表決

影山日出弥

中国地方制度関係資料分析覚書

浅井敦

## 42 (1967. 12)

戦後アメリカの対外援助 1945~1947(1)

松村一隆

中国刑法における犯罪類型(2)

夏目文雄

中国文化大革命の論点(1)

浅井敦

陳独秀を清算する

仿池上貞一  
魯訳

1919年、20年の湖南

池上貞一 訳

—— the North-China Herald の記事より ——

チェコスロバキアの新労働法典(1)

池上貞一 訳  
大学院労働法研究会  
胡麻本葛一 編

## 43 (1968. 8)

東ドイツの法律事情

木田純一

社会主義経済と貨幣

富岡裕

戦後アメリカの対外援助 1945~1947(2)

松村一隆

中国刑法における犯罪類型(3)

夏目文雄

チェコスロバキアの新労働法典(2)

大学院労働法研究会  
胡麻本葛一 編

## 44 (1969. 2)

社会主義建設の歴史の偽造

副島種典

レジス・ドブレのラテン・アメリカ革命研究(1)

柳沢英二郎

ヨーロッパ復興援助—アメリカの対外援助 1948~51年(1)—

松村一隆

中国刑法における犯罪類型(4)

夏目文雄

チェコスロバキアの新労働法典(3)

大学院労働法研究会  
胡麻本葛一 編

## 45 (1969. 7)

チェコスロバキア事件をめぐる理論的諸問題

副島種典

相互防衛援助計画(MDAP)

— アメリカの対外援助 1948~51(2)—

松村一隆

レジス・ドブレのラテン・アメリカ革命研究(2)

柳沢英二郎

中国刑法における犯罪類型(5)

夏目文雄

続・中国の村づくり(1)

野間清訳

チェコスロバキアの新労働法典(4)

大学院労働法研究会  
胡麻本葛一 編

## 46 (1970. 3)

中国国营企業の原価管理

野崎幸雄

中国刑法における刑の執行猶予論

夏目文雄

アントニオ・ヌーニエス・ヒメネス

「キューバの農業改革」

三好四郎 訳

続・中国の村づくり(2)

— 『中国農村における社会主義の高揚』

野間清 訳

チェコスロバキアの新労働法典(5-完)

大学院労働法研究会  
胡麻本葛一 編

社会主義国東ドイツをたずねて

大島隆雄

愛知大学国際問題研究所紀要総目録(1949~1969)

## 47 (1970. 10)

- |                       |      |
|-----------------------|------|
| 社会主義刑法における共犯立法        | 夏目文雄 |
| 戦後アメリカの対外投資 1945-50年  | 松村一隆 |
| 内蒙古における自治運動の歴史的評価について | 大林洋五 |
| 最近の東西ドイツ交渉にかんする若干の資料  | 大島隆雄 |
| 続・中国の村づくり(3)          |      |
| ——『中国農村における社会主義の高揚』—— | 野間清訳 |
| 中国企業経営関係文献目録          | 野崎幸雄 |

## 48 (1971. 5)

- |                             |                 |
|-----------------------------|-----------------|
| 朝鮮民主主義人民共和国における社会主義経済発展の新段階 | 副島種典            |
| 中国刑法における減刑・仮釈放論             | 夏目文雄            |
| レジス・ドブレのラテン・アメリカ革命研究(III-完) | 柳沢英二郎           |
| トライニン                       |                 |
| ブルジョア犯罪構成要件論批判              | 木田純一<br>上野達彦 共訳 |
| フランスにおける企業集中の展開             |                 |
| (1966年~69年を中心として)           | 藤本光夫            |

## 49 (1971. 10)

- |                          |                 |
|--------------------------|-----------------|
| 中国刑法における犯罪競合論            | 夏目文雄            |
| 内蒙古における自治運動の歴史的評価について(下) | 大林洋五            |
| C. R. ロドリゲス              |                 |
| 「第二次農業改革——キューバ農業の新過程」    | 三好四郎 訳          |
| フランス石油会社の発展              | 藤本光夫            |
| トライニン                    |                 |
| 社会主義刑法と犯罪構成要件            | 木田純一<br>上野達彦 共訳 |
| 『中国農村における社会主義の高まり』評語集(1) | 野間清 訳           |



## 50 (1972. 3)

中国刑法における量刑論

夏目文雄

ニクソンの「ドル防衛策」と国際通貨危機

松村一隆

トライニン

犯罪概念と構成要件およびその要素

木田純一 共訳  
上野達彦

『中国農村における社会主義の高まり』評語集(2)

野間清 訳

## 51 (1972. 9)

中国刑法における刑罰論(1)

夏目文雄

資本輸出と世界企業

塚本隆敏

ドイツ民主共和国労働法典(1)

宮崎鎮雄 訳  
鈴木浩

キューバ第一次・第二次農業改革法

大西基夫 訳

『中国農村における社会主義の高まり』評語集(3)

野間清 訳

R. Falk ed., THE INTERNATIONAL LAW OF CIVIL WAR

三好正弘

## 52 (1973. 1)

「純粹の社会主義」の想定について

副島種典

現代帝国主義と「多国籍企業」

角谷登志雄

戦後アメリカの国際収支

松村一隆

中国刑法における刑罰論(二)

夏目文雄

## 53 (1973. 5)

国際政治 1972 年

柳沢英二郎

「多国籍企業」とアメリカ国際収支

松村一隆

ソ連邦の経済改革の現状について

塚本隆敏

中国刑法における刑罰論(三-完)

夏目文雄

国際貿易の純粹理論

木村憲二郎  
水野伸一郎

フランスの金融資本と保険業の再編成

藤本光夫

中国の財務管理文献

野崎幸雄

## 54 (1974. 3)

- |                        |                |
|------------------------|----------------|
| 中国刑法の効力論               | 夏目文雄           |
| 厚生経済学と貿易利益             | 水野伸一郎          |
| キューバ共和国基本法 1959年2月7日採択 | 木田純一<br>上野達彦 訳 |
| 新疆を訪れた日本人              |                |
| 附、波多野南山『新疆偵察記』抄        | 大林洋五           |

## 55 (1974. 9)

- |                              |       |
|------------------------------|-------|
| 最近の中国農村人民公社の若干の問題について        | 野間清   |
| 中国刑法における時効論                  | 夏目文雄  |
| 「国際関係」                       | 水野伸一郎 |
| 「キューバの文盲一掃運動における手段と方法」(一)    | 大西基夫  |
| 朝鮮民主主義人民共和国科学文化代表団の愛知大学訪問の記録 |       |

## 56 (1975. 1)

- |                              |        |
|------------------------------|--------|
| 満鉄経済調査会の設立とその役割              | 野間清    |
| 中国刑法における正当防衛と緊急避難論           | 夏目文雄   |
| 再び東ドイツの法律事情について              | 木田純一   |
| 「国際経済・内政・外交」                 | 水野伸一郎  |
| シム・ヒョンイル「キム・イルソン主席の社会主義憲法理論」 | 水谷真理 訳 |
| 副島種典、「社会主義建設の理論と実際」          | 岡本正    |
| 浅井 敦、「現代中国法の理論」              | 大林洋五   |
| 野崎幸雄、「中国経営管理論」               | 儀我壮一郎  |

## 57 (1975. 10)

- |                  |      |
|------------------|------|
| 「韓国」問題と日本(上)     | 藤城和美 |
| 中国刑法における予備・未遂論   | 夏目文雄 |
| ソビエト刑事学に関する若干の問題 | 上野達彦 |

工業政策と資源配分

水野伸一郎

チャン・ソンマン、「自主的な社会主義国家」と憲法

水谷真理 訳

キューバの文盲一掃運動における手段と方法

大西基夫 訳

張俊彦、北京大学の教育革命の状況

野間 清 訳

## 58 (1976. 2)

「キューバ新憲法について」

——準備過程と特色——

胡麻本 篤一

「満州」農村実態調査の企画と業績

——満鉄調査回想の二——

野間 清

国際経済政策の諸問題

水野伸一郎

中華人民共和国憲法の基本思想

——その形成と特質——

近田 尚己

ドイツ戦後処理問題

——賠償問題を中心に——

加藤 正男

「ブルジョア刑法における犯罪構成要件論批判」

上野達彦 訳

「ドイツ民主共和国における勤労市民の生活状態」

鈴木 浩 訳

ガルブレイス、「経済学と公共目的」

水野伸一郎  
木村 憲二

## 59 (1976. 9)

朝鮮民主主義人民共和国における土地改革の歴史的意義

久野 重明

中国刑法における犯罪客体論

夏目 文雄

ブルジョア犯罪構成要件論批判

——「ブルジョア犯罪構成要件論批判からソビエト  
犯罪構成要件論への転換過程」序説——

上野 達彦

キューバ共和国新憲法草案(2)

胡麻本 篤一

第2回朝鮮民主主義共和国科学文化代表団の愛知大学訪問の記録

## 60 (1977. 2)

中国慣行調査、その主観的意図と客観的現実

野間 清

「韓国」問題と日本（中）	藤城和美
国際貿易と投資の理論(1)	水野伸一郎
最近の中国教育改革の状況	
——南京市魯迅中学を参観して——	近田尚己
中国におけるブルジョア的権利の制限	鈴木幹夫
キューバ共和国憲法正文	胡麻本萬一

## 61 (1977. 12)

フランス公企業の多国籍の展開と外資	藤本光夫
ソビエト刑事訴訟法における「無罪の推定」の原理	上野達彦
中国における都市住民運動の新展開	
——向陽院運動の背景と性格——	近田尚己
キューバ革命17年間の歩み	大西基夫 訳

## 62 (1978. 3)

円の対ドル為替レート上昇と経済政策	奥野博幸
価格機構・国家・国際経済	水野伸一郎
ソビエト犯罪構成要件論前史	木村憲隆
——殊にA・H・トライニンの理論的変遷を中心にして——	上野達彦
「マルクスの過渡期」論の一考察	
——斎藤、長砂両氏の論議によせて——	古澤賢治
キューバ共和国中央国家行政組織法	胡麻本萬一
柳沢英二郎「戦後国際政治史」I・II	前田慶穂

## 63 (1978. 10)

戦後アメリカ・ヨーロッパ関係	柳沢英二郎
最近の中国農村人民公社と農業発展政策	
——七里営人民公社と河埭人民公社の場合——	久野重明

在日朝鮮人研究と研究者の立場	藤城和美
アフリカ諸国の刑事政策 (I)	
—— アラブ連合共和国とザンビアの場合 ——	夏目文雄
キューバ共和国中央国家行政組織法(2)	胡麻本萬一
キューバ紀行抄	胡麻本萬一

## 64 (1978. 12) 創立 30 周年記念号

社会主義的自主管理の理論的諸問題	副島種典
満州事変と地方新聞	
—— 『新愛知』『名古屋新聞』の場合 ——	江口圭一
西ドイツにおける労働者階級の状態の悪化	
—— とくに 1974・75 年恐慌以後について ——	大島隆雄
中国の経済建設における「独自性」について	
—— 山内・藤村論争に学ぶ ——	古澤賢治
毛沢東と湖南公民制憲運動	
—— 王無為編著「湖南自治運動史上編」 (上海泰東図書局、民国 9 年 12 月発行) より ——	池上貞一
アフリカ諸国の刑事政策 (II)	
—— 3 コンゴ民主共和国 ——	夏目文雄

## 65 (1979. 9)

ニクソン回顧録とベトナム戦争	柳沢英二郎
対ソ経済援助と冷戦	
—— 対ソ借款問題を中心に ——	加藤正男
最近の中国農村経済政策について	久野重明
ソビエト刑法における行為の社会的危険制排除事由について	
—— A・A・ピオントコフスキーの理論を中心に ——	浜口和久
キューバ共和国青少年法典	胡麻本萬一
アフリカ諸国の刑事政策 (III)	夏目文雄

フランスの政治情勢（その1）

——1978年国民議会選挙を中心にして——

藤本光夫

ドイツ民主共和国における健康・労働保護(一)

鈴木浩

## 66 (1980. 1)

満鉄調査部改組・拡充の意義とその統一調査企画

野間清

内戦期における中国共産党の基本方針とその転換過程（上）

——民主革命の政治過程論序説——

近田尚己

アフリカ諸国の刑事政策（Ⅳ）

夏目文雄

ソビエト刑法における正当防衛とその関連問題

——B・Ⅱ・トカチェンコの立場——

浜口和久

フランスの政治情勢（その2）

——1978年国民議会選挙を中心にして——

藤本光夫

## 67 (1980. 8)

内戦期における中国共産党の基本方針とその転換過程（下）

——民主革命の政治過程論序説——

近田尚己

アフリカ諸国の刑事政策（Ⅴ）

夏目文雄

フランスの政治情勢（その3）

——1978年国民議会選挙を中心にして——

藤本光夫

ドイツ民主共和国における健康・労働保護(二)

鈴木浩

中国社会科学院 1978年研究生選考試験問題

浅井敦 解説  
加藤寛昭 訳

## 68 (1981. 1)

カンボジアの現状

——カンボジア人民共和国を訪れて——

副島種典

フランスにおける中小企業政策

藤本光夫

「シェーレ」問題に見る中国の農業政策について

——1953年から「調整期」までの議論を中心に——

古澤賢治

アフリカ諸国の刑事政策 (VI)	夏目文雄
ドイツ民主共和国における健康・労働保護 (三)	鈴木浩

## 69 (1981. 8)

鈴木擇郎氏に聞く (一)	今泉潤太郎 田崎哲郎
アフリカ諸国の刑事政策 (VII)	
——ケニア、タンザニア、ウガンダ——	夏目文雄
中国軽工業と経済調整期	鈴木幹夫

## 70 (1981. 12)

科学的社会主義の古典的諸命題を正確に理解することの必要性について	
——社会的所有の本質の問題と関連して——	副島種典
政治における役割配置	
——1980年アメリカ大統領選挙の場合——	青木栄一
「韓国」問題と日本 (下)	藤城和美
鈴木擇郎氏に聞く (二)	今泉潤太郎 田崎哲郎
ドイツ民主共和国労働法典 (1)	
——解説と条文——	宮崎鎮雄 鈴木浩
藤本光夫著『転換期のフランス企業』	平實

## 71 (1982. 6)

1917年メキシコ憲法序説 (1)	
——比較憲法史のために——	伊藤峰司
中国における貸銀制度改革の現況	安藤伸二
アフリカ諸国の刑事政策 (VIII)	夏目文雄
ドイツ民主共和国労働法典 (2)	
——解説と条文——	宮崎鎮雄 鈴木浩
続・毛沢東と湖南公民制憲運動	
——湖南大公報1920年版より——	池上貞一

参加貸付全国保証基金と銀行の参加貸付

ビュール・サラザン (国家市場全国金庫総務部長)

中華人民共和国銃器管理規則

藤本光夫

加藤寛昭

## 72 (1982. 12)

J・スターリンによる科学的経済学の変革(一)

——スターリン著『ソ連邦における社会主義の  
経済的諸問題』の検討——

ルーマニアにおける经济管理制度

中国の経済改革と最近の物価問題

ソビエト刑法における過剰防衛

アメリカのアジア政策(1)

——ポイント4計画と東南アジア——

現状分析的社会主义商品論の問題点

アフリカ諸国の刑事政策 (IX)

ドイツ民主共和国労働法典(3)

山本二三丸

浅尾仁

古澤賢治

浜口和久

加藤正男

安藤伸二

夏目文雄

宮崎鎮雄  
鈴木雄浩

## 73 (1983. 6)

南アフリカ共和国の武力行使と国際法との関係

J・スターリンによる科学的経済学の変革(二)

——スターリン著『ソ連邦における社会主義の  
経済的諸問題』の検討——

アメリカのアジア政策 (II)

——ポイント4計画と東南アジア——

1917年メキシコ憲法序説(2)完

——比較憲法史のために——

ドイツ民主共和国労働法典(3)の2

——解説——

「工業70条」と中国の工業企業管理

中国における日本外交史研究

中国の新しい憲法制定の原因および指導思想

中野進

山本二三丸

加藤正男

伊藤峰司

宮崎鎮雄  
鈴木雄浩

古澤賢治

俞辛焯

呉櫛英



## 74 (1983. 11)

- 公的扶助における行政手続  
 —— 給付打ち切りおよび扶助基準策定のアメリカにおける議論を中心に —— 鈴木 光 善
- J・スターリンによる科学的経済学の変革(三)  
 —— スターリン著「ソ連邦における社会主義の経済的諸問題」の検討 —— 山 本 二 三 丸
- レーガン時代(1) 柳 沢 英 二 郎
- アフリカ諸国の刑事政策 (X) 夏 目 文 雄
- ドイツ民主共和国労働法典(4)  
 —— 解説と条文 —— 宮 崎 鎮 雄 浩  
 鈴木 雄 浩
- 地域参加機関  
 —— アラン・バシェリエ —— 藤 本 光 夫
- ナチズムの虚像と実像  
 —— ファシズム研究の現段階に寄せて —— 山 口 定

## 75 (1984. 1)

- 三八度線分割  
 —— 太平洋戦争における米国の朝鮮政策 —— 藤 城 和 美
- 最近の中国農村経済政策の主要な特徴について  
 —— 農業生産責任制を中心として —— 久 野 重 明
- 中国法三十年史概観 加 藤 寛 昭
- 新民学会会務報告(第一号)、(第二号) 池 上 貞 一
- 近田傳氏に聞く 今 泉 潤 太 郎  
 田 崎 哲 郎
- 中国近代とは何か  
 —— 中国社会科学院の十カ月 近 藤 邦 康
- 日本と中国の近・現代  
 —— 視点の相違について —— 光 岡 玄

## 76 (1984. 6)

- |                                   |             |
|-----------------------------------|-------------|
| 中国農業における生産責任制の展開とその実態について         | 久野重明        |
| J・スターリンによる科学的経済学の変革(四)            |             |
| ——スターリン著『ソ連邦における社会主義の経済的諸問題』の検討—— | 山本二三丸       |
| アフリカ諸国における精神障害性犯罪者の処遇             | 夏目文雄        |
| フランスにおける銀行とイノベーション開発金融            |             |
| ——ANVAR, INODEVを中心として——           | 藤本光夫<br>達鳳全 |
| 農業における生産連繫請負責任制の探究                | 王野重<br>久崎昌  |
| 成吉思汗の末裔の国——モンゴル                   | 小崎昌業        |

## 77 (1984. 11)

- |                                   |       |
|-----------------------------------|-------|
| ソビエト刑法における軽微な犯罪の非刑罰的処理            | 浜口和久  |
| J・スターリンによる科学的経済学の変革(完)            |       |
| ——スターリン著『ソ連邦における社会主義の経済的諸問題』の検討—— | 山本二三丸 |
| アフリカ諸国の刑事政策(総説)                   | 夏目文雄  |
| 中国经济法序説(1)                        |       |
| ——王忠他編著『経済法学』吉林人民出版社(一九八二年)より——   | 浅井敦   |

## 78 (1984. 12)

- |                                 |              |
|---------------------------------|--------------|
| 中国における農村体制改革の政策形成と特質            |              |
| ——「政社分離」の予備的考察——                | 近田尚己         |
| ゲ=ティン=ソビエト運動とベトナム共産党            | 細井佐和子        |
| レーガン時代一九八四年                     | 柳沢英二郎        |
| ドイツ民主共和国労働法典(5)                 |              |
| ——解説と条文——                       | 宮崎鎮雄<br>鈴木雄浩 |
| 中国经济法序説(2)(完)                   |              |
| ——王忠他編著『経済法学』吉林人民出版社(一九八二年)より—— | 浅井敦          |

田中清氏に聞く

今泉潤太郎  
田崎哲郎

## 79 (1985. 6)

「有名な“リンケージ”理論」

柳沢英二郎

イスラム法における犯罪と刑罰 (I)

夏目文雄

社会主義的管理の基本認識

川原純

ドイツ民主共和国労働法典(6)

——解説と条文——

宮崎鎮雄  
鈴木木野重  
久野輪伊織

中国の農業生産責任制(1)

Wolfgang Plal: Deutsche Träume oder Der Schrecken der Freiheit Ausbruch ins 19. Jahrhundert Econ Verlag, Düsseldorf · Wien 1981.

大島隆雄

「在日朝鮮人問題、この十年」

田中宏

## 80 (1985. 12)

中国共産党旅欧支部の成立

森時彦

アメリカ経済の現状

若林努二  
木村憲二  
夏目文雄

イスラム法における犯罪と刑罰 (II)

長谷川雄太郎と広州同文館 (上)

池上貞一

相互業界信用

——ピエール・サラザン、ミシェル・クラヴィエ——

藤本光夫  
久野重明  
箕輪伊織

中国の農業生産責任制(2)

オーストリア民俗学の歴史(1)

河野眞

日本憲法と中国憲法の歴史的條件

針生誠吉

## 81 (1986. 6) 特集号 中国新時代

はしがき

浅井敦

中国の経済改革と投資環境

小島麗逸

中国の農業と生産責任制

久野重明

最近の中国事情と日中関係	渡辺幸治
中国をめぐる国際関係	柳沢英二郎
日本語教育に見る中国と日本	
——「'85 大学講師夏期日本語講習会」の報告を兼ねて——	山内啓介
大学における外国語教育の現状と方法	
——中国語を対象として——	陶山信男
開放中国の社会相	釜井卓三
中国で子供を生ま育てて	荒川清秀
現代中国の教育制度	由紀子
——三中全会以降の教育改革と今後の課題——	木山徹哉
中国の近代化と留学生	森時彦

## 82 (1986. 7)

インドシナ革命と NSC 68	加藤正男
福祉家庭訪問と令状	
——アメリカにおける議論とくに Wyman V. James を中心に——	鈴木光善
イスラム法における犯罪と刑罰 (III)	夏目文雄
マインツ革命の敗れた戦士たち	大島隆雄
ベトナムにおける 1930～31 年のゲ=テイン=ソビエト	細井佐和子
中国の農業生産責任制 (3)	久野重明
ドイツ民主共和国労働法典 (7)	箕輪伊織
——解説と序文——	宮崎鎮雄
オーストリア民俗学の歴史 (2)	鈴木雄浩
第三世界、特にアジアの開発問題について	河野真
	佐々波秀彦

## 83 (1986. 12)

中国の人口分布	
——1982 年人口センサスから——	藤田佳久
中国の地方政治制度	近田尚己

イスラム法における犯罪と刑罰 (Ⅳ) 完 名倉予何人「海外日録」	夏目文雄
——文久2年千歳丸関係史料——	田崎哲郎
ベトナム戦争——五つの解釈—— (Ⅰ)	細井保
長谷川雄太郎と広州同文館 (下)	池上貞一
オーストリア民俗学の歴史 (3)	河野真
最近のフィリピンの政治変革について	池端雪浦

## 84 (1987. 7)

中国・福建省ノート	
——東亜同文書院学生の「旅行日誌」記録の分析との関連で——	藤田佳久
中国における破産制度	
——企業破産法をめぐる——	加藤寛昭
マルクスにおける Genossenschaft への展開について	
——現代社会主義批判のために——	安藤伸二
レーニンと社会主義的管理原則の「形成」	川原純
アラブ諸国の刑事立法 (1)	夏目文雄
ソビエト刑法における軽微な犯罪の処理事例	浜口和久
ベトナム戦争——五つの解釈—— (Ⅱ)	細井保
オーストリア民俗学の歴史 (4)	河野真

## 85 (1988. 1)

旧韓国時代の朝鮮における森林資源と林野利用	
——『韓国森林視察復命書』からの復元——	藤田佳久
「労働者統制」から「国家統制」へ	
——ソ連片社会主義管理メカニズム形成の端緒過程と労働者統制——	川原純
福祉受給者の保護と手続的デュー・プロセス	鈴木光善
アラブ諸国の刑事立法 (Ⅱ)	夏目文雄
オーストリア民俗学の歴史 (5)	河野真

## 86 (1988. 7)

フランス国有化企業の再編成	藤本光夫
七三一部隊と教科書検定	江口圭一
アラブ諸国の刑事立法 (III)	夏目文雄
中国の村民委員会組織法	近田尚己
ドイツ民主共和国労働法典 (8) 完 —— 解説と条文 ——	宮崎木鎮雄
オーストリア民俗学の歴史 (6)	河野真
アメリカ憲法と日本国憲法	斎藤真
アメリカ合衆国憲法制定 200 年記念シンポジウム	

## 87 (1989. 2)

旧韓国時代末の朝鮮における森林資源の評価と経営管理プラン ——『韓国森林調査書』にあらわれた日本側からの分析——	藤田佳久
アラブ諸国の刑事立法 (IV)	夏目文雄
津之地直一氏に聞く	今田久 泉潤太郎
中国の農業生産責任制 (4) 完	田久 野重伊
オーストリア民俗学の歴史 (7)	河野真

## 88 (1989. 3) 特集号

東亜同文書院 上海調査報告書	谷光隆
----------------	-----

## 89 (1989. 7)

ソ連型社会主義管理メカニズムの形成過程	川原純
ある清末外交官の日本研究	盛邦和
“西原借款”について	米慶余
GROWTH, IMOPORT SUBSTITUTION AND WELFARE	藪内繁純 柿元己男

アラブ諸国の刑事立法 (V)	夏目文雄
藤本光夫著『ミッテラン政権と公企業改革』	平 實
『ドイツ社会民主党内の帝国主義問題をめぐる論争 (1895-1914)』(1926)	保住敏彦
『精神科学としての民俗学』	河野 眞

## 90 (1989. 12)

東亜同文書院生の中国調査旅行コースについて	藤田佳久
シラク政府の民営化を契機としたフランス企業経営の新展開(上)	藤本光夫
Variable Returns to Scale, Stability and Technical Progress with Nontraded Goods	藪内繁己
Describing A First Attempt to Teach about Human Rights	John Hamilton
アラブ諸国の刑事立法 (VI) (完)	夏目文雄
池上貞一氏に聞く	今泉潤太郎 田崎哲郎
ドイモイ (刷新) の中のハノイに生活して (1)	
—— 留学報告 ——	細井佐和子
『ドイツ社会民主党内の帝国主義を めぐる論争 (1895-1914)』(1926) (承前)	保住敏彦
『民俗学の研究課題としてのフォークロリスムス (上)』	河野 眞

## 91 (1990. 6)

『蘭州紀要』に寄せて	藤田佳久
シラク政府の民営化を契機としたフランス企業経営の新展開(下)	藤本光夫
○は漢字か	今泉潤太郎
ドイモイ (刷新) の中のハノイに生活して (2)	
—— 留学報告 ——	細井佐和子
『世界政治において秩序はいかに維持されるか』	樋野芳雄
『民俗学の研究課題としてのフォークロリスムス (下)』	河野 眞
6. 4 天安門事件前後の北京(1)	樋口義治

## 92 (1990. 12)

La libéralisation et l'internationalisation financières du Japon	藤本光夫
--	------

日米金融摩擦と日本の証券市場

藤原 洋 二  
沈 徹

第1次大戦前アメリカにおける独立鉄鋼企業の成長

二橋 智

中国経済改革における「放権譲利」の現段階

安藤 伸 二

手続的デュー・プロセスと利益衡量

鈴木 光 善

アラブ諸国における少年法制(1)

夏目 文 雄

ムートネスの法理に関する一考察

田 嶋 久 資

ユースポフ皇子の性格及び生活について

J・ハミルトン

「戦争と平和に対する第二インターナショナルの立場」

保 住 敏 彦

日中経済交流上の諸問題と今後の展望

嶋 倉 民 生

6.4天安門事件前後の北京(2)

樋 口 義 治

## 93 (1991. 3) 特集号

東亜同文書院 香葉調査報告書

谷 光 隆

## 94 (1991. 5)

波多野養作の中国・西域踏査旅行について

藤 田 佳 久

アメリカのインドシナ政策 1950-1951

加 藤 正 男

ベレストロイカと社会主義(1)

川 原 純

十五年戦争と満鉄調査部

祁 建 民

アラブ諸国における少年法制(2)(完)

夏 目 文 雄

中国講学記

江 口 圭 一

H・パウジンガー/M. ブラウン/H. シュウェート  
『新しい移住団地—民俗学・社会学調査』(1)(抄訳・解説)

河 野 眞

6.4天安門事件前後の北京(3)

樋 口 義 治

## 95 (1991. 12) 特集号

公開シンポジウム記録 豊橋の国際化を考える

—ある中国人の叫び—

伊東利勝 編



## 96 (1991. 12)

ツヴァル信託基金 (TTF) の構造と運用	佐藤元彦
中国経済改革期の賃金政策とインフレーション	安藤伸二
ベレストロイカと社会主義 (II)	川原純
アラブ諸国における自由刑の執行	夏目文雄
中日両国における近代ヨーロッパ文化摂取の比較	趙建民
H・パウジンガー/M. ブラウン/H. シュウェート 『新しい移住団地—民俗学・社会学調査』(2) (抄訳・解説)	河野眞
6. 4 天安門事件前後の北京 (4)	樋口義治

## 97 (1992. 9) 日中復交 20 周年記念特集号

刊行のことば	嶋倉民生
日中国交正常化の一考察	
—— 北京で見た日中国交交渉 ——	中島宏
北京滞在記	
—— 国交正常化前後 ——	釜井卓三
辛亥革命期の中日外交史論	俞辛焯
蒙古軍政府の研究	森久男
日中戦争期海南島のアヘン生産	江口圭一
書かれなかった「近代の超克」	緒形康
復交前の日中記者交換と LT・MT 覚書	嶋倉民生
国際政治 1972 年	柳沢英二郎
日中国交正常化 20 周年と戦争責任	
—— 賠償問題を中心に ——	加々美光行
中国弁護士論序説	浅井敦
中国における企業管理学の継承と管理	野崎幸雄
大戦後の中国綿紡織業と中紡公司	川井伸一
中国の第二次経済改革初期における市場の拡大と経済動態	安藤伸二

中国の技術進歩の定量分析について

滬・蘇・皖地区の一考察

孫文、山田良政・純三郎関係資料について

杉浦真弓  
今泉潤太郎  
藤田佳久

## 98 (1993. 2)

波多野養作の「西域地方事情」ノート

Die Herausbildung des faschistischen, staatsmonopolistischen Kapitalismus in Deutschland und Japan

中国国有企業における経営請負制の動向

キリバス経済の構造変化と「持続可能性」

岩倉使節団と日本の近代化

第二革命と護国戦争期の中日外交史論

大陸中国人のパーソナリティ

新しい財産権としての福祉受給権

ペレストロイカと社会主義 (III)

中国刑法における犯罪の主体論

リアリズムをどうとらえるか

H・パウジンガー/M. ブラウン/H. シュウェート  
「新しい移住団地—民俗学・社会学調査」(3) (抄訳・解説)

紅衛兵時代の北京支局長を体験して

日中国交回復と戦争責任

我観・日中問題

藤田佳久  
Takao OSHIMA

川井伸一

佐藤元彦

米慶余

兪辛焯  
樋口義治  
今泉潤太郎  
山田信男

鈴木光善

川原純

夏目文雄

樋野芳雄

河野眞

秋岡家栄

加々美光行

衛藤藩吉

## 99 (1993. 9)

旧韓国時代末期の北韓地方における森林資源の  
分布と木材生産プラン

地方からみた財政請負制の動向

一九二七年の五人常務委員会

ペレストロイカと社会主義 (IV)

中国：80年代の産業構造についての一考察

The Hongkong Negotiations; is a Through-Train Possible?

H・パウジンガー/M. ブラウン/H. シュウェート  
「新しい移住団地—民俗学・社会学調査」(4) (抄訳・解説)

藤田佳久

川井伸一

緒形康

川原純

杉浦真弓

ジョン・ハミルトン

河野眞

# 100 (1994. 3)

アメリカにおける定数裁判研究序説(1)

酒井吉栄

エネルギー資源・環境問題と企業・人間

—— 冷戦構造崩壊後の人類社会の分岐点 ——

川原純

第二次経済改革期の中国经济と価格改革の行方

安藤伸二

アラブ諸国における刑事訴訟法の概要

夏目文雄

紀要総目録 No.1 ~ No.100

## 索引

### 【あ】

※数字は紀要号数

- 青木 栄 一 70,  
秋岡 家 栄 98,  
秋永 肇 16,  
浅井 敦 20,21,34,37,38,40,41,42,67,77,78,81,97,  
浅尾 仁 72,  
荒川 清 秀 81,  
荒川 竜 彦 24,25,27,  
荒川 由紀子 81,  
安藤 伸 二 71,72,84,92,96,97,100,  
尹 和 雨 38,  
池上 貞 一 3,5,6,7,8,10,12,15,18,19,20,21,22,23,25,26,32,  
33,35,38,39,42,64,71,75,80,83,  
池端 雪 浦 83,  
石川 忠 雄 20,  
一圓 一 億 7,  
一條 雄 司 1,2,  
伊東 武 雄 18,  
伊東 利 勝 95,  
伊藤 峰 司 71,73,  
井上 11,  
今泉 潤太郎 30,36,69,70,75,78,87,90,91,97,98,  
入江 啓四郎 18,28,  
植田 捷 雄 5,  
上野 達 彦 48,49,50,54,57,58,59,61,62,  
宇佐美 10,  
江口 圭 一 64,86,94,97,  
衛藤 藩 吉 98,  
王 偉 76,

大石岩雄 4,6,9,  
 大島国雄 6,  
 大島隆雄 46,47,64,79,82,98,  
 太田英一 3,  
 大西基夫 51,55,57,61,  
 大林洋五 47,49,54,56,  
 おかだひでお 27,  
 緒形康 97,99,  
 岡本正 56,  
 奥野博幸 62,  
 小幡清金 1,4,12,

## 【か】

E・S・カービー 8,  
 加々美光行 97,98,  
 柿元純男 89,  
 影山日出弥 29,30,32,36,39,40,41,  
 勝部元 21,  
 加藤寛昭 67,71,75,84,  
 加藤正男 58,65,72,73,82,94,  
 金丸一夫 1,2,3,6,7,9,10,11,12,13,14,17,18,20,26,  
 釜井卓三 81,97,  
 川井伸一 97,98,99,  
 河合秀敏 29,30,  
 川越淳二 9,  
 川崎一郎 5,8,15,18,19,20,21,22,25,26,30,31,33,35,36,37,  
 38,  
 川原純 79,84,85,89,94,96,98,99,100,  
 儀我壮一郎 56,  
 木田純一 23,29,31,39,40,41,43,48,49,50,54,56,  
 木村憲二 53,58,62,80,  
 木山徹哉 81,

許 滌 新	25,26,
久 野 重 明	59,63,65,75,76,79,80,81,82,87,
H・クライヤー	30,31,32,
黒 木 三 郎	20,21,22,24,27,28,29,30,31,32,
桑 島 信 一	1,
呉 擷 英	73,
小 岩 井 浄	1,2,19,
河 野 眞	80,82,83,84,85,86,87,89,90,91,94,96,98,99,
小 崎 昌 業	76,
小 島 麗 逸	81,
小 竹 文 夫	8,
胡麻本 蕪一	2,8,10,11,18,31,32,42,43,44,45,46,58,59,60,62, 63,65,
近 田 尚 己	58,60,61,66,67,78,83,86,
近 藤 邦 康	75,
近 藤 晴 彦	22,24,27,

## 【さ】

蔡 和 森	39,
斉 藤 眞	86,
酒 井 吉 栄	29,35,100,
坂 本 徳 松	21,31,
佐々波 秀 彦	82,
佐 藤 元 彦	96,98,
四 方 博	1,
嶋 倉 民 生	92,97,
島 本 彦次郎	28,
周 鯉 生	36,
杉 浦 真 弓	97,99,
杉 本 出 雲	15,18,19,20,21,23,24,26,28,32,33,37,
鈴 木 扱 郎	26,
鈴 木 中 正	8,23,28,

鈴木	浩	51,58,65,67,68,70,71,72,73,74,78,79,82,86,
鈴木	正四	28,
鈴木	幹夫	60,69,
鈴木	光善	74,82,85,92,98,
鈴木	安藏	19,
角谷	登志雄	52,
陶山	信男	81,98,
盛	邦和	89,
蘇	星	38,39,40,
副島	種典	22,24,27,36,40,44,45,48,52,64,68,70,
園部	敏	6,

## 【た】

平	實	70,89,
高橋	勇治	19,
田崎	哲郎	69,70,75,78,83,87,90,
田	久資	92,
達	鳳全	76,
田中	収	27,
田中	宏	79,
谷	光隆	88,93,
祁	建民	94,
趙	建民	96,
沈	徹	92,
塚本	隆敏	51,53,
唐	懷	5,
戸嶋	弁夫	9,
富岡	裕	24,25,27,32,43,

## 【な】

内藤	戌申	20,21,23,26,32,
----	----	-----------------

中 島	宏	97,
中 野	進	73,
夏 目	文 雄	32, 34, 35, 36, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 59, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 71, 72, 74, 76, 77, 79, 80, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 89, 90, 92, 94, 96, 98, 100,
二 橋	智	92,
野 崎	幸 雄	22, 27, 46, 47, 53, 97,
野 間	清	25, 26, 30, 32, 33, 34, 35, 36, 38, 39, 40, 45, 46, 47, 49, 50, 51, 55, 56, 57, 58, 60, 66,

## 【は】

萩 野	茂 彦	5,
萩 原	伸次郎	85,
浜 口	和 久	65, 66, 72, 77, 84,
J・ハミルトン		90, 92, 99,
針 生	誠 吉	80,
樋 口	義 治	91, 92, 94, 96, 98,
樋 野	芳 雄	91, 98,
広 長		11, 12,
藤 井	宣 丸	23,
藤 城	和 美	37, 57, 60, 63, 70, 75,
藤 田	佳 久	83, 84, 85, 87, 90, 91, 94, 97, 98, 99,
藤 本	光 夫	48, 49, 53, 61, 65, 66, 67, 68, 71, 74, 76, 80, 86, 90, 91, 92,
藤 原	洋 二	92,
古 澤	賢 治	62, 64, 68, 72, 73,
米	慶 余	89, 98,
仿	魯	42,
朴	庸 坤	16, 20, 21, 22, 23, 24, 27, 29, 34,
保 住	敏 彦	89, 90, 92,
細 井	佐和子	78, 82, 90, 91,
細 井	保	83, 84,



細 迫 朝 夫 3,4,9,25,

【ま】

前 田 慶 穂 62,  
松 葉 秀 文 15,16,17,18,19,20,21,22,26,28,29,  
松 村 一 隆 41,42,43,44,45,47,50,52,53,  
水 谷 真 理 56,57,  
水 野 伸一郎 53,54,55,56,57,58,60,62,  
光 岡 玄 75,  
箕 輪 伊 織 79,80,82,87,  
宮 坂 宏 39,  
宮 崎 鎮 雄 39,51,70,71,72,73,74,78,79,82,86,  
三 好 四 郎 4,5,6,15,18,21,29,46,49,  
三 好 正 弘 51,  
向 山 寛 夫 17,33,34,36,  
毛 沢 東 6,  
森 時 彦 80,81,  
森 久 男 97,  
森 谷 克 己 2,6,

【や】

柳 沢 英二郎 31,33,35,37,44,45,48,53,63,65,74,78,79,81,97,  
藪 内 繁 己 89,90,  
山 内 啓 介 81,  
山 口 克 己 4,  
山 口 定 74,  
山 田 隆 雄 62,  
山 本 二三丸 72,73,74,76,77,  
倉 辛 惇 73,97,98,  
吉 田 東 祐 3,

【わ】

若杉 努 80,  
渡辺 幸治 81,